



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 “Be Agents of Change” [変革の担い手になろう] 押し寄せる挑戦に応えるために
 アジア会長標語 “New thinking New action!” [新たな思考で、新たな行動を!]
 西日本区理事標語 “Serve as a bridge for the future” [未来に架ける橋]
 中部部長標語 [高めようリーダーシップ 築こうネットワーク]
 クラブ会長標語 「ワイズスピリットと個性を生かして地域へ出よう!!」

2004年4月号

＜今月の聖句＞

主は、わたしたちのために死なれましたが、それは、わたしたちが、目覚めていても眠っていても、主と共に生きるようになるためです。

[テサロニケの信徒への手紙一 5章10節]

グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

2004年4月例会ご案内

◎第一例会

と き : 4月8日 (木)
 ところ : 南山YMCA
 時 間 : 19:00～
 南山クラブ合同例会
 「フィリピンワークキャンプ報告会」
 当日は食事を準備しますので、出欠は
 必ずドライバーまで連絡してください。

◎第二例会 (鈴木連絡主事慰労会)

と き : 4月22日 (木)
 ところ : 別途連絡
 時 間 : 19:00～

◎その他

1. 潮干狩り
と き : 4月18日 (日)
ところ : 知多半島
2. フリーマーケット
と き : 4月24日 (土)
ところ : 名古屋YMCA
3. 筍ミーティング
と き : 5月4日 (火)
ところ : 三井邸
4. あまごミーティング
と き : 5月15日 (土)
ところ : 美杉村
5. 釣り大会は5月30日 (日) 詳細別途

3月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド (3月)	
	在 席 者	16名	第 1 例 会	14名	当 月 ・ 切 手		ニコBOXノート	
	例会出席者	15名	第 2 例 会	11名	当 月 ・ 現 金		感 謝 ファンド	
	当月出席率	94%	部 会 他	名	累 計		累 計	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

＝強い義務感を持とう。義務はすべての権利を伴う＝

3月第一例会報告

1. 2月総会で議論された次年度の人事（役割）については、概ね了解されましたが、細部については次期会長（松原君）に委ねることとしました。従って詳細は次号で報告します。
2. 鈴木君の退職について慰労会を4月の第二例会にて焼肉慰労とします。
3. 4月第一例会（4月8日）は南山クラブとの合同例会とする。卓話については、フィリピンワークキャンプの報告会としたい。南山クラブには会長より打診することとします。

第二例会報告

3月第二例会記録

日時：3月18日（木）19時より20時30分
場所：名古屋 YMCA
出席：三井、坂口、早川、荒川、坂野、坂倉、阿部、下村、佐々木

1. DBC について

3月13日横浜の湘南戸塚 YMCA にて横浜とつかクラブとの DBC 締結が滞りなく執り行われた。今後についてグランパスとしてはオフィシャルプログラムとしては年一回の合同例会を行うことが提案された。とつかクラブと協議をして決定する旨確認した。

2. 潮干狩りにについて

4月18日河和にて行う。尚、坂口君より詳細をメンバーに連絡し、出欠についても坂口君がまとめることを確認。

3. 鈴木主事の送別会について 服部君に一任（だったと思う）

4. フリーマーケットについて 予定通り4月24日に行う

5. 4月第一例会について 南山クラブとの合同例会とし、席上フィリピンワークキャンプ報告会を行う。

6. EMC について

今後積極的に EMC を行う中で、若い人達が参加し易い工夫が必要だとの意見があり、今後具体的な取り組みをして行く事とした。

D B C 締 結 特 集



DBC締結式典模様

名古屋グランパスワイズメンズクラブ
横浜とつかクラブ DBC 報告

期 日：2004年3月13日（土）

会 場：横浜とつかYMCA

10周年記念式典席上にて

今年度の大きな事業目標の一つである横浜とつかクラブとのDBC締結式がさる3月13日（土）横浜とつかYMCA10周年記念式典の席上にて神様の見守りと祝福のなか無事終了できましたことの報告を申し上げます。



両クラブ会長の固い握手

会長は仕事のため、やむを得ず欠席をしましたが、直前会長の佐藤君が大切な役を引き受けていただきました。又このDBC締結に向けとつかクラブと事前調整を佐々木君にお願いしました結果、全てがスムーズに運びましたことに感謝申し上げます。



記念パーティーでのクラブ交流

祝会から合流することができましたが、とつかクラブをはじめ、参列された東日本区の各ワイズの明るさとパワーを垣間見、中部とはまた違う雰囲気を味わうことができました。

二次会でようやく三谷会長と杯を汲むことができお互いに「末永く交流ができようにしましょう」と確認をいたしました。

グランパスととつかではメンバー構成、活動内容とそれぞれに個性をもってクラブ運営を行っていますが、お互いに刺激しあってワイズダムのさらなる発展に寄与していきたいと思えます。また今後の具体的な交流については三谷会長と調整をはかっていきたいと考えています。

吉田 正



DBC締結証

DBC 締 結



とても永く感じた3年でした。

沖縄で開催された東日本区大会に軽い気持ちで参加した時のこと。しいさあクラブのチャーターナイトにとつかクラブのメンバーとして沖縄に行って以来のことでした。

東日本区大会には懐かしいとつかクラブの面々。5年ぶりの再会でした。

とつかのみなさんと話もはずみ、いつしか

DBCの話になっていました。名古屋に戻り早速グランパスの例会にて提案したところ承諾が得られて交流がスタートしました。



グランパス10周年に訪問していただいたり、横浜への招待、さらには名古屋の合同新年会への多数の来名と交流会。いくつかの交流プログラムを通し親睦が深まり、先日めでたくゴールインしました。この間、とつかクラブの直井さんには連絡の窓口として大変ご苦勞をおかけし感謝の気持ちでいっぱいです。



結婚はしてからのほうが大切なように、DBCも締結後のほうが大切だと思います。永いお付き合いとなりますよう、お互い無理をせず、楽しい交流が続けていけたらと心より願っています。みなさん本当にありがとうございました。

佐々木 忍



代行無事完了

吉田会長の代行役が無事済み、一年前のお返しが少しでもできたかなと思いはっきりしています。戸塚クラブとのおつきあいを、みなさんと一緒にやりあげていけたらいいなあと思います。
佐藤



横浜珍道中

急遽、車で行くことになった我がグループ、早川、坂倉、佐藤、服部組は早朝6:30にYMCAに集合、高速を飛ばし一路横浜へ。

例のごとく取り留めのない話でワイワイ、ガヤガヤ騒がしい車内も、朝食を取った浜名湖SEを過ぎて徐々に静かに、後ろの席は爆睡状態。誰と誰かはご想像がつくでしょう。横浜インター一辺りは若干混んでいましたが、幸い大きな渋滞もなく無事に宿泊のホテルに到着。男性にとって最高の地、伊勢崎町のど真ん中、まだまだ昼前なのに早出の呼び込みのお兄さんを振り切って、車を預けたのち戸塚へ。



地下鉄戸塚駅からとつかYは目と鼻の先、空腹を訴える〇倉君を黙らせるため、途中和食のファミレスへ。身も心も落ち着いてとつかY式典会場に無事到着しました。(式典内容について

は他の出稿にまかせます。一言横浜地区の各クラブのワイズとしての威厳に感動いたしました。また懇親パーティーでのジョージ・ベンソンばりのジャズ、ロックのパフォーマンスには感激、東京周辺のミュージック・シーンの水準の高さにあらためてノックダウンされました。ちなみに彼は昨年入会したメンバーだそうです。また次の機会に聴けるのを楽しみにしています。)



今回は翌日をフリーとしたため、当日帰る組、友達と合う組、東京へ行く組などさまざまです。阿部、三井、荒川、早川、服部、プラス横浜在の姉宅を訪問した家内と娘の組は、午前中それぞれが自由行動。お昼に中華街に集合し、紹興酒をあおりながら大満足の時間を過ごしました。

前述の姉に教えてもらって行った店ですが、大変おいしかったです。横浜へ行かれる方がありましたらお教えしますよ。

最後になりましたが、とつかクラブの皆さん、関係者の皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。今後両クラブの活動がYMCAにとって、そして地域社会にとって、ますます大きな位置を占めるものになりますよう協力していきたいと思っています。併せて両クラブの兄弟愛が大きく膨らみますようお願いしています。
服部庄三



中華街を満喫した服部ファミリー

ファミリースキー特集



＊まだスキーができそうだ。

1月に爺が岳にスキーに行ったのが3年ぶりのスキーでした。良い雪と良い仲間恵まれ楽しいスキーができ、これならまだスキーができそうだという思いを新たに、今回の山田温泉を楽しみにしていました。初めてスキーを履いたのが高校生のころなのでもうウン十年前、今では自身の技術的向上は望むべくもありませんが、スキーの道具のお陰で楽しむことができるのはありがたいことです。ちょうど長野オリンピックのころにカービングスキーが出てきてこれな



イレーナさんと筆者

らまだやれそうだったものですが、正直なところ、これもそろそろスキー板の長さや、目方が気になっていたところでした。今回はショートスキーをもって行ったお陰で今まで以上に楽しむことができ、再びこれならまだ当分できそうだという思いを新たにしました。これからも私をスキーに連れてって！



吉田メネットと荒川ファミリー

＊長いドライブは体にこたえます。

標高の高い山田牧場スキー場は3月とは思えない大変良い雪でした。天候に恵まれ絶好のドライブ日和でもありましたので一緒に行った両外人？も大変満足していたのではないかと思います。日本に帰ってからは長距離を一人で運転するという機会が余りありませんでしたのでひさしぶりに私もドライブを楽しむことができました。行きはよいよい、But、老体を酷使したあとのドライブは、渋滞の影響もあり大変こたえました。

今度は誰か乗せてって！



北アルプスをバックに松原ファミリー

＊やはり温泉

私にとってグレンデに立つことができればスキーはイメージで滑ったように気がして目的をほとんど達したようなものです。スキーの楽しみは皆で食べ、かつ飲みワイワイすることも重要な楽しみの一つです。今回はドライブの疲れが出たせいか夕食後はダウン、情けないことに楽しみの一つであった、食後の歓談に参加できず。あとで聞いたり、写真を見る限り大変盛り上がっていたようで余計に残念！



にぎやかな夕食でした

宿泊した笠岳ロッジには温泉がないと思っていましたが、露天風呂こそ雪のため閉鎖されていたものの、大変良い岩風呂がありました。このあたりは温泉の密集地のようで、近くの松川温

泉にも行きました。数ある中でこの温泉が選ばれたのは混浴！ということでしたのでしょうか？温めの露天風呂に入って周りの山、川などがめっていたところに、なにやら騒がしい突然の嬌声？と共に我が女性軍団がバスタオルをまとい侵入、皆で入れば怖くない？ということか、温泉が初めてという当社の社員で参加したセルビアからの女性も混じっていたのに二度びっくり。ちなみに中国人の男性社員のほうは恥ずかしいといって露天風呂には入りませんでした。帰りに近くの七味温泉に行きました。これが又、良い湯と良いもてなしの気持ちの良いところでした。是非皆さんもお出かけください。



のんびりと第三リフトに乗って・・・

スキーはやはり温泉！

今回は会社の同僚である、セルビア（旧ユーゴスラビア）のイレナ、と中国の林も参加をさせてもらいました。スキーが始めてのイレナも楽しむことができたようです。スキーをしなかった林もスノーシューという新しい経験ができ大変喜んでいました。お世話をしてくださった皆様のお心使いに感謝いたします。これからもグランパスのプログラムに彼らも参加させたいと思っています。よろしくお願いします。1泊2日の短い間でしたが、盛りだくさんのプログラムに大変満足しました。ありがとうございました。

吉田一誠

毎年これが楽しみです



天然の巨大ツララ

今回は加藤兄が参加しないのでゆっくりの出発です。ご存知写真の達人の彼にとって感動的な夜明けは絶好のシャッターチャンスです。爺ヶ岳では雪原での日の出、今回では姥捨PAからの日の出が最高のロケーションです。残念ながら今回は先生が不参加のため、アシスタントの私はゆっくり睡眠をとることができました。



雪の多さが自慢の山田牧場スキー場

でもここは自然の宝庫、シャッターポイントはいくらでもあります。今シーズンは暖冬と言われましたが、雪はたっぷりありました。でも例年より気温が高いせいかゲレンデコンディションは典型的な春型で、朝はガリガリのアイスバーン、午後はベシヨベシヨ雪に近く、さすがの南志賀高原も春近しの状態でした。でも第三リフト降り口では北アルプス連邦が一望でき、「今年も来てよかった。」と毎年の感動が得られました。三井兄と服部兄に一度この絶景を見せてあげたいな。



筆者とコメット

さて、雪解けも近いですが、ここ山田牧場では6月頃に山菜が採れるそうです。吉田会長とは意気統合してますので、クラブで山菜採りツアーを提案します。少し遠いけど新鮮な山菜天ぷら食べて、温泉に浸かってのんびりと遅い春を満喫するのもいいですよ。

荒川恭次

S O 特 集



スペシャルオリンピックス日本
2004 年冬季ナショナル長野ゲーム 愛知地区組織アスリート各種目で活躍

2月27日（金）～29日（日）長野県で第3回冬季NG長野ゲームが全国からアスリート632名、団長・コーチ433名、大会役員・スタッフ・ボランティア約6000名が参加して開催されました。

愛知地区組織の冬季大会の参加は始めてでしたがアルペンスキー8名、フロアホッケー10名、スノーシューイング1名、フィギュア&スピードスケート3名のアスリートがエントリーとボランティアコーチが参加しました。

ホワイトリンクでの開会式では小錦やキロロのゲストとして迎え盛大に行われました。28日（土）から競技が開始され予選・決戦が行われ愛知地区のアスリートたちは日ごろの成果を発揮すべくそれぞれに全力をだし良き成績を収めることができました。



私はフィギュア&スピードスケートの競技を担当しましたが、大会の雰囲気はまったく一

般の競技会と変わりがありません。スペシャルオリンピックスといえどルールは国際規則が適用されルール違反があればすぐに「失格」が適用される厳しさももっています。

また、外国からの招待選手もおりフィギュアでの上級レベルグループはまさに国際大会そのものです。その中で愛知のアスリートは堂々と二位となりました注目を浴びました。

この大会のエントリー資格要件の一つに2泊3日コーチとともに生活ができる者とあります。単に記録がいい、成績がいいではなく大切な事は日ごろの継続なトレーニングをとおしてあらゆる自立に向けて努力すること、その成果の一つにコーチと生活ができる者が重要な条件となってきます。

スペシャルオリンピックスは知的発達障害者を対象としたスポーツ活動と大いに注目を浴びていますが本質的には「スポーツを通じて、アスリートの自立を促す」ことにあります。今回のようなビックイイベントがありますと大会そのものが関心を多いにもたれますが、

大切なことはこれらの大会を契機として彼らの生活の一部としてスポーツがあるつまり「生涯スポーツ」として日常化することにあります。今後ともあらゆる機会を通じてこの活動を啓発していきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

SON冬季NG長野愛知地区選手団団長
吉田 正



満開のみもぎアカシアの木（三井邸にて）

中部ホームページ：<http://www.ys-chubu.jp>